

その他

<p>件 名</p>	<p>白井市第5次総合計画に関連した意見表明</p>
<p>内 容</p>	<p>白井市広報紙等で拝読した表記計画ですが、平成28年にスタートし令和7年度までの10か年のうち残すところ3か年となりました。次期計画である第6次のスタートアップまで着々と策定作業が進捗し、素晴らしい市政が現出することを祈念しています。</p> <p>しかしながら、現行計画の5本柱の筆頭に掲げられた「もっと安全・安心なまちに」という計画の内容を拝見すると、ICTの活用・国際化推進、通学路の安全・教室へのエアコン設置、子供の声の吸収など、個別の課題は理解できますが、必ずしも10か年計画の骨格となる基本施策として具体性なり緊急性の高い施策たり得ているのか、はなはだ疑問に思われます。</p> <p>周知のとおり、本年春の市会議員選挙については、議員定数の削減もあり、こうした施策の進捗状況を市民がどう評価するのか関心をもってきましたが、女性市議の占有率が全国市町村のトップとなったことにはいささか驚きました。私の経験した都計審でも、障害者の方をはじめ、勇退された議員についても、女性として凛々しい発言に鮮やかな印象を刻みさせていただいています。</p> <p>こうした環境変化や議会状況を勘案すれば、本総合計画の喫緊の骨子となるべき課題は、女性問題であり、少子化対策、子育て対策・男女同一賃金政策、男女共同参画の抜本的な切込みなどにあるものと考えます。</p> <p>こうした観点などから、2つの提言を提出しますので、事情ご賢察のうえ、検討方、よろしくをお願いします。</p> <p>はじめに、白井市民大学の次年度課題について同大学をぜひとも次年度も継続することを前提に、一部変更を提案します。</p> <p>一つ目は、令和6年度に【(子育て中の)女性】を対象とした新規のコースを設定することです。</p> <p>前述のとおり、全国的にも市議会等への女性の進出には目覚ましいものが認められ、一部の市町村では20代、30代の若々しい女性層への学習機会の提供や施策検討会などの試みがマスコミ等を通じて喧伝されてきました。この世代は、子育てが負担になり、またその配偶者も企業での雇用環境が厳しさをますことなど、学習機会を生かすことの困難さが憂慮されます。こうした壁を打破して、どうすれば少子化対策等の難題に対処が可能となるか。現職の市会議員や有識者、企業経営者等を糾合して講習してもらい、課題解決に向けてミーティング等を実行することは極めて有意義なことではないでしょうか。</p> <p>こうした観点から、まずは市役所の中に講師選考基準、講義内容、受講者のイメージづくりなどを検討するタスクフォースを形成し、1~2か月で試案を策定すること。</p> <p>講習内容には、例えば市会議員や元職との討論会を企画し、一種のタウンミーティングの形式を採用することなど検討願いたい。</p> <p>二つ目は、同年度の講師と講習内容等の一部を修正することです。</p> <p>現在のシニアコースについては、講習内容が趣味的な傾向が強く、もう少し前向</p>

	<p>きな人生を展望できるような講習にしてもらいたい。こうした観点から、生涯学習課が構築した「白井人材バンク」を活用できないかと考えています。</p> <p>例えば、実務的な経験を持った有識者が講師を務め、その経験を講習するなどは如何か。因みに、小職は民間で10年以上、内部監査を経験し、実務経験を活かして物書きとして第二の人生を送っている。近くこの分野の小冊子(改訂増補版)を上梓する予定であり、今回の中古車販売業者の不祥事案等についても講習することが可能です。次年度講師の一人にエントリーし、2コマの講習を希望します。</p> <p>次に、市民向けオープン講演会の企画検討について提案します。</p> <p>6年前に地方自治法の一部緩和措置が施行され、現行2名の監査委員のうち、1名を議員から選出する義務が外れました。白井市・市議会では当時、もっぱら議選監査委員制度の存続の是非を論議してきましたが、結局、制度を維持するとの結論に達しました。</p> <p>しかし、本問題の解決の糸口は短期的な対応ではなく、監査委員のなり手不足の実態をどのように解消していくかの1点にかかっています。このためには、多少時間がかかっても地方自治法の本旨を理解し、また市政における監査(会計監査・行政監査)の重要性を説く、監査経験者による講習が必要と思われます。</p> <p>そこで、上記と重複しますが、小職が講師を務めたいと考えています。形式は行政(監査委員会事務局・生涯学習課)と市議会(議会事務局)の共催とし、時期は本年秋季口以降、可及的速やかに開催してはどうでしょうか。具体的な講演テーマは今後調整しますが、たとえば「民間監査と行政監査、行政監査の重要性とその効能」などを提案します。</p>
<p>回 答</p>	<p>現在、市民大学校は白井市第5次総合計画の後期基本計画に基づき、地域活動の活性化に主眼を置き実施しているものであり、学部(コース)の改編等を行う場合は、現在実施している事業を検証の上、第6次総合計画策定時に実施することとしております。</p> <p>従いまして、御提案いただいた女性のみを対象とした学部の新設については、第5次総合計画後期基本計画期間中の実施は難しく、第6次総合計画策定時の参考とさせていただきます。</p> <p>講師選考基準、講義内容等を検討するタスクフォースの形成については、総合計画内で定められる指標等に複数の関係課の意見が反映されること及び計画期間中の時点修正や毎年度のカリキュラム策定時に講師や講義内容の見直しを行っていくことで対応してまいります。</p> <p>また、講義内容にタウンミーティング形式を採用することについては、次期総合計画に紐づく市民大学校の目標を達成するために必要な事項であれば、実施することも考えられますが、現状は困難です。</p> <p>しろい人材バンクの登録者を講師とすることについては、市民大学校の目標と照らし合わせ、適宜検討してまいります。</p> <p>お申し出のあった、御自身が講師となっただくことについては、内部監査は、内部監査を必要とする団体・個人等が自ら学習・研鑽に取り組むべきと考えますので、誠に申し訳ありませんが、市民大学校で内部監査の講義を取り扱う予定はありません。</p> <p>最後に、市民向けオープン講演会の企画検討についてですが、監査委員には、行事</p>

<p>の共催及び後援に関する規程がなく、実施は困難です。</p> <p>また、行政監査という講演内容に市民ニーズがあるかについても主催者としては疑問があることから、市民向けオープン講演会については開催する予定はありません。</p>
---